



～須賀川市立第一小学校～

令和7年度

学校づくり推進ビジョン

今年度の取り組みと指標目標

本校の普適的教育概念

幼而学壯而行（幼にして学び壯にして行ふ） **交以道接以礼**（道をもって交わり、礼をもって接す） ※ 明治9年6月15日 木戸孝允公より墓前拝頓
気概（僕らの未来は僕らが変えるんだ 希望へと突き進もう） ※ 大黒摩季・NAOTO提供 一小震災復興応援ソング「希望のた」より

教育目標

何事にもすすんで取り組み、気概をもって立ち向かう、心豊かな児童の育成をめざす

心の豊かな子ども -「交流」-

健康でたくましい子ども -「挑戦」-

意欲的に考える子ども -「自立」-

育てたい子どもの心…「桜水の心」

お 思いやりの心

う 美しい心

す 素直な心

い 一生懸命な心

交以道接以礼

（道を持って交わり、礼を持って接す）

私たちの誓い

子どもたちが一人残らず「自分が大切にされている」と実感できる第一小学校を創る

＜引き受け、寄り添う＞

- 先入観なく、子どもの良さ（変化）を引き出せる教職員
 - ・ 子どもの持つ背景や事情は一人ひとり異なることを理解し、どの子どもかけがえのない価値がある一人として引き受ける。

＜子どもと関わり、その成長をともに愉しむ＞

- 子どもを育て、成長した姿をともに喜び、感動できる教職員
 - ・ 可能性を引き出し、努力の過程と結果を子どもとともに喜び合う。

＜授業の質を追求し、挑戦する＞

- 授業を内省的に自認し、授業の難しさを共有しながら、小さな試行錯誤を繰り返し、授業の質を高める教職員
 - ・ すべての子どもの学びを保障するために、ペアやグループの機能を生かした対話的で探究的な学びを、全ての教科、全ての授業で挑戦し、夢中になって学ぶ子どもを育てる。

＜働き方を問い直しよりよい働き方に変える＞

- 働き方を問い直し、働き方を工夫改善するとともに、常に誠実な勤務を心がける教職員
 - ・ 同僚性と当事者意識を高め、信頼を損なう不祥事を出さない職場環境をつくる。

幼而学壯而行（幼にして学び壯にして行ふ）

気概（僕らの未来は僕らが変えるんだ 希望へと突き進もう）

心の豊かな子ども -交流-

「真・善・美」を求め、仲間と協力し合い、支えあって楽しく生活する子どもを育てる。

健康でたくましい子ども -挑戦-

進んで体を鍛え、安全に気を付け、物事に気概をもって立ち向かっていく子どもを育てる。

意欲的に考える子ども -自立-

学んだことを活用して、さらに新たな学びを創造していく子どもを育てる。

1 一人ひとりが大切にされている学級経営

- ・ QUテストの実施と分析、いじめのない居心地のよい学級づくり
- ・ 子どもが抱える困難や課題、悩み等に対応するための家庭との密な相互連絡体制の確立
- ・ 協力的な実践活動（係・当番、児童会活動、行事等での役割等）の実施

指標	・ 学校評価アンケート「良さを認め合える学級である」と答える子ども85% ・ QUテスト「親和型学級」が4年生以上11学級中6学級以上
----	--

2 「桜水の心」が備わった児童の育成

- ・ 道徳科の授業の充実
- ・ 「命の大切さを考える日」の設定と道徳的实践

指標	・ 学校評価アンケート「他の人に迷惑をかけず、思いやりを持って生活できた」と答える子ども85%
----	---

3 基本的な生活習慣の定着と規範意識の醸成

- ・ 集団生活でのきまりの遵守のための指導の徹底
- ・ あいさつや返事の指導

指標	・ 学校評価アンケート「進んであいさつができた」と答える子ども85%
----	------------------------------------

1 体力・運動能力の向上

- ・ 体育の授業での児童一人ひとりの実運動時間20分以上の確保
- ・ 季節や時期にあった運動機会の確保
- ・ 休み時間等での体を動かし自由に遊ぶ機会の奨励

指標	・ 全国運動能力運動習慣等調査「運動が好き」という子ども80% ・ 全国運動能力運動習慣等調査 男女とも体力合計点県平均以上
----	---

2 健康・安全な生活環境づくり

- ・ 集団登校、集団的下校の実施。地域と連携した見守り体制の維持継続
- ・ 発達段階に応じた危険予知能力、危険回避能力獲得のための繰り返しの指導
- ・ 事故未然防止のための学校施設、通学路等の定期点検の実施
- ・ 感染症等の感染防止、感染拡大防止のための発達段階に応じた自己健康管理能力の育成のための繰り返しの指導

指標	・ 交通被害重症事故「0」 ・ けがによるスポーツ振興センター申請件数 前年度より減少
----	--

3 食育の充実

- ・ バランスの良いメニューによる給食の提供
- ・ 食育と体育、健康教育にかかる授業の効果的な実施

指標	・ 肥満傾向改善児童「3名以上」
----	------------------

1 探究的に、夢中になって学ぶ子どもの育成

- ・ 全ての教科、全ての授業で、ペア、グループによる主体的・対話的で深い学び実現
- ・ 難易度の高い課題への挑戦と探究的な学習の日常化
- ・ 学び合う場と時間の確保と聴き合うかわりを大切にした授業の展開
- ・ 学び方「自分との対話、課題（教材）との対話、他者との対話」を通して探究的に夢中で学ぶ授業デザインの構想
- ・ ICT機器の効果的な活用
- ・ 地域人材やゲストティーチャー、施設等を活用した効果的な体験学習の実施

指標	・ ふくしま学力状況調査「グループやペアで、話し合ったり、意見や考えを出し合ったりして課題を解決している」と答える子ども80% ・ ふくしま学力状況調査 学力指標前年度より向上
----	---

2 家庭学習の習慣化

- ・ 学年の発達段階に応じた家庭学習（学年×10＋10分間）の励行と習慣化

指標	・ 学校評価アンケート「宿題は、（用事がない限り）決まった時間に行うようにしている」と答える子ども80%
----	--